

5. 公共用地先行取得事業特別会計

(1) 収支の概要について

本年度の予算現額は1,037,804千円であり、前年度の予算現額と比較すると292,781千円（39.3%）増加している。

また、決算額は歳入で1,036,978千円（増減率39.3%）、歳出で1,036,978千円（増減率39.3%）となっている。

決算状況比較表

(単位:千円)

区 分 \ 年 度	2	元	増 減 額	増 減 率 (%)
予 算 現 額	1,037,804	745,023	292,781	39.3
歳 入 決 算 額	1,036,978	744,214	292,764	39.3
歳 出 決 算 額	1,036,978	744,214	292,764	39.3
歳 入 歳 出 差 引 額	0	0	0	-
翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0	-
実 質 収 支 額	0	0	0	-
単 年 度 収 支 額	0	0	0	-

(2) 歳入の概要について

決算額の予算現額に対する比率は99.9%で前年度と同率となっている。

また、調定額に対する比率は100.0%で前年度と同率となっている。

決算額の内訳は、繰入金267,674千円（構成比25.8%）、市債769,304千円（74.2%）となっている。

歳入状況一覧表

科目	区分	予算現額		調定額		予算現額に対する比率
		金額	構成比	金額	構成比	
			%		%	%
繰入金		268,500	25.9	267,674	25.8	99.7
市債		769,304	74.1	769,304	74.2	100.0
合計		1,037,804	100.0	1,036,978	100.0	99.9

更に決算額を分析すると、歳入決算額1,036,978千円は前年度より292,764千円(39.3%)増加している。

その内容は、市債で301,044千円(64.3%)増加し、繰入金で8,280千円(3.0%)減少している。

(単位:千円)

収 入 済 額				不 納 欠 損 額		収 入 未 済 額	
金 額	構 成 比	予算現額に 対する比率	調定額に 対する比率	金 額	調定額に 対する比率	金 額	調定額に 対する比率
	%	%	%		%		%
267,674	25.8	99.7	100.0	0	0.0	0	0.0
769,304	74.2	100.0	100.0	0	0.0	0	0.0
1,036,978	100.0	99.9	100.0	0	0.0	0	0.0

(3) 歳出の概要について

決算額の予算現額に対する比率は99.9%で前年度と同率となっている。

また、不用額は826千円で前年度より17千円増加しており、予算現額に対する比率は0.1%で前年度と同率となっている。

決算額の内訳は、公債費1,036,978千円（構成比100.0%）となっている。

歳出状況一覧表

(単位:千円)

科目	区分 予算現額		支出済額			翌年度繰越額			不用額		
	金額	構成比	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率	金額	構成比	予算現額に対する比率
公債費	1,037,804	100.0	1,036,978	100.0	99.9	0	-	0.0	826	100.0	0.1
合計	1,037,804	100.0	1,036,978	100.0	99.9	0	-	0.0	826	100.0	0.1

決算額を前年度と比較すると292,764千円（39.3%）公債費で増加している。

科目別年度比較表

（単位：千円）

科目	2 年 度		元 年 度		増 減 額	増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
		%		%		%
公 債 費	1,036,978	100.0	744,214	100.0	292,764	39.3
合 計	1,036,978	100.0	744,214	100.0	292,764	39.3

(4) むすび

当会計においては、引き続き土地の管理、起債の元利償還等を行い、できるだけ早い時期に過去の負債からの脱却を実現できるよう望むものである。